

チェロのヨーヨー・マからジャズ・ヴァイオリニストの大家ステファン・グラッペリ、ギターのアサド兄弟、東儀秀樹、葉加瀬太郎、高嶋ちさ子、ベルリンフィル・メンバーまで…各ジャンルのトップ・オブ・トップと共演を重ねてきた古澤巖。その研ぎ澄まされた音楽で公演の度に大喝采を受ける彼のソロ・リサイタルが、多くのアンコールの声に応え実現いたします!

クラシックにこだわらず、あるいは音楽にこだわらず、ありとあらゆるものを取り入れ、テレビやラジオといった各メディアに出演を重ね発信を続ける彼はまさに「音楽の求道者」。横浜の午後に楽しむ貴重なソロ・リサイタル、前回お越しいただいた方もそうでない方も、必聴です!

ジャンルを超越した、音楽の求道者 孤高の天才による、貴重なソロ・リサイタル

古澤 巖 (ヴァイオリン) Iwao Furusawa (Violin)

競技ダンス番組毎週(木)21:54TV東京「Dの旋律」出演中。現在バロックを武澤秀平氏に師事、音楽のルーツ及び楽器の有るべき姿を学んでいる。ベルリン・フィルのメンバーとはイタリアの作曲家の新作を毎回初演し、パリの精鋭達で編成されるコルシカ音楽祭はオペレッタ等の古き良きサロン音楽を、TAIRIKプロデュースの品川カルテットではクラシックの真髄を、そして山本耕史とのワンダーランドDandyism Banquet等、ヴァイオリンを中心とした6種類のステージを毎年行っている。

金益研二 (ピアノ) Kenji Kanemasu (Piano)

作編曲家・ピアニスト。東京都出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を近藤譲氏に師事。幼少時からピアノ・エレクトーン(電子オルガン)を始め、クラシックからポピュラー音楽全般まで幅広く親しむ。大学卒業後はバンドネオン奏者田邊義博氏(Yoshihiro Tanabe)との出会いによりアルゼンチンタンゴに興味を持ち、06年にはブエノスアイレスにてホルヘ・ドラゴネ氏(Jorge Dragone)にタンゴピアノを師事。08年より世界の音楽とオリジナル楽曲を織り混ぜた独自のスタイルでソロライブ「音の散歩」シリーズを展開。ヴァイオリニスト古澤巖のCD「The Ecstasy Of Gold」(2021)に「Milonga de noche」が収録される他、様々なアーティストへ楽曲・アレンジを提供。ピアニストとしては自身のライブの他に、尺八奏者・渡辺淳氏とのユニット「ウミガメ」や、古澤巖「ヴァイオリンの夜」全国ツアーのピアニストを務める他、柔軟な感性を活かしアルゼンチンタンゴをはじめとした多岐に渡るジャンルのアーティストとのコラボレーション、ミュージカルのオーケストラでの演奏など幅広く活躍中。楽譜:「碧空に咲く花」(マザーアース)「JAZZアレンジで弾くスタジオジブリ」(ヤマハミュージックメディア)他CD:オリジナル作品集「音の散歩~おいしい風~」他、日本作編曲家協会(JCAA)会員。趣味はジョギング。

webサイト:

<http://www.kanemasukenji.com/>

金益研二
(ピアノ)



Iwao Furusawa
Violin Concert 2024